

Yokkaichi JC Report

一般社団法人四日市青年会議所 2018年度スローガン

夢を描き、理想を掲げ、^{いま}現在を一生懸命に生きよう

大谷常雄委員長



我々青少年育成委員会では、自然に感謝することは日本人の精神文化の原点であり、青少年たちに伝える必要があると考えております。ところが、文部科学省によりますと、少子化による一人っ子の増加、塾などの習いもので友達と時間が合わないなど、自然に触れる機会が減少しているという調査結果がでております。そこで、自然に対する感謝・畏れが軽視されている現状から、親たちが実践してみせる事で、子ども達に自然とふれあい自然への感謝、畏れを体感して次世代に繋げていただきたいと考え、今回の6月度例会を実施させていただきました。四日市市少年自然の家にて、「木切り」「この木何の木」「火おこし体験」といった自然に触れ合う行事を中心に実施いたしました。自然が相手ということもあり、ヒルが一般参加者の皆様に付着したといったこともありました。それも「自然の畏れ」として体験・認識をしたとの意見をいただきました。委員会発表においては、「ネイチャービンゴ」「クイズ大会」といった自然やまわりへ感謝してもらうことを目的に実施いたしました。当例会を通じて、一般参加者の皆様からは、「自然と触れ合う機会ができて良かった。」「身の回りのものは自然のものからできている、ということに改めて認識できた。」「自然に対する感謝を子どもと一緒に学ぶことができた。」といったご意見を頂戴することができました。今後も、メンバー一人ひとりが感謝の心を忘れることなく活動に取り組んでまいります。



(里中理事長挨拶)



(自然と触れ合う様子)